

次世代 HERO

Next Generation's Hero



柔道で負けたら
絶対リベンジします

体格差は関係ない

第53回 全国中学校柔道大会出場

◆女子個人63kg級

おおほり そら
大堀 天空 さん

(名陵中学校3年)

習い始めは、けがをしないように柔道をしていた。下関に引越し一転、一切甘えが許されない柔道に。そして今、全国で勝つための柔道を。



県内の高校に進学し、山口県内の柔道を盛り上げたいです。

全 国大会出場を目標とした小学5年生の頃、大堀さんの柔道に取り組み姿勢が本格的に変わりました。指導者で父の大堀大さんは「娘が柔道の指導を素直に受け、必ず最後までやり続け、段違いに強くなる姿を見てきました」と振り返ります。しかし分厚い県内の壁。寮生活などで柔道に身を置き、鍛え続ける県強化選手たちに負け続けます。地道にトレーニングを続け、数限りある練習稽古で、「大

内刈」「内股」の技を磨き続けた結果、大堀さんはいよいよ一度も勝てなかった強化選手たちを最後の県大会で全員倒すことができました。「今まではライバルたちにぼろ負けでした。初めて勝った時はうれしくて涙が出ました」全国大会では、洗礼を受けたという大堀さん。「普通に組み手を取るのではなく、片手でも相手を引きずり回すような圧倒的な組み手をしたい!」と心新たに意気込みを語ってくれました。

持続可能な 社会の実現を 目指して



市長コラム /
希望の風
市長の部屋



世界規模では、石油石炭ではなく太陽光や風力、水力といった再生可能エネルギーを活用する取り組みが進んでいくことでしょうか。私たちが一人一人にできることは、電球をLEDに変えたり、部屋の明かりを小まめに消すことを意識してみたり…。

皆さんはどんな取り組みが思い浮かびますか？ これから一緒に考え、小さなことから一緒に取り組んでいきましょう！

皆さんこんにちは！ 前田晋太郎です。最近よく「カーボンニュートラル」や「ゼロカーボン」といった言葉を耳にするようになりました。「カーボン」炭素です。言葉の意味はなんとなく分かっていただけるのではないのでしょうか。

今、できるだけ二酸化炭素を排出しない社会をつくっていくという議論が、日本はもちろん世界で沸き起こっています。下関市も、この100年で年間の平均気温が1.7度も上がっており、「地球温暖化」という問題も人ごとではありません。

そこで、下関市は令和3年5月に「ゼロカーボンシティしものせき」を宣言。2050年までに、市内から排出される温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする目標を掲げました。これを達成するために、市としての取り組みを行っていくことはもちろんですが、市民の皆さんや事業者の皆さんにもぜひ協力をさせていただきたいと思っています。